

事業所における自己評価結果(公表)

公表：令和 4 年 3 月 15 日

事業所名 放課後等デイサービス/保育所等訪問支援WARAKURA

		チェック項目	回答	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	はい	法令を遵守したスペースを確保している 個別学習用の机、パーティションをもう少し増やす必要がある
	②	職員の配置数は適切であるか	はい	法令で必要とされる職員数を確保しているが、 行事や活動内容によって、不足していると感じることもある
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	はい	車いす用のトイレ、玄関にスロープがある
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	はい	情報共有や振り返りができていないときがある
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	はい	保護者アンケートを実施 結果を職員で共有し、支援の在り方など見直し、取り組み、活動、計画の改善に努める
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	いいえ	ホームページで公開予定
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	いいえ	第三者による外部評価は現在おこなっていないが、今後実施を検討していきたい
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	はい	外部の研修に参加し、職場内研修の場で伝えあう。 課題の改善、自己研鑽の為の職場内研修を実施してきた 今後も様々な研修機会を増やしていきたい。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	はい	保護者の意向を聞いて、計画を立てている 訪問支援等で、子どもの実態把握に努めている
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	はい	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	はい	打ち合わせの際に職員間で検討している 一人に負担がかかっていると感じる場合がある
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	はい	打ち合わせの際に職員間で検討している。 会議や打ち合わせ等で話し合い、意見を出し合った り、又利用児童の希望を聞き、固定化しないよう工夫している
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	はい	
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	はい	職員会議で検討し、放課後等デイサービス計画を作成している
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	はい	

	⑩ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	はい	支援終了後に打ち合わせは勤務時間的に難しく、十分な時間が取れているとは言えない状況である。翌朝にミーティングを実施し、前日の振り返りと情報共有、当日の取り組みについて共有する等工夫している
	⑪ 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	はい	日々の活動の記録をとっているが、支援内容や個別支援計画の見直しや改善につなげている
	⑫ 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	はい	初回時、3か月、6か月と適時モニタリングを行い、保護者と支援の振り返りや今後の課題等について話し合いを行い、より良い療育に努めている
	⑬ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	はい	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑭ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	いいえ	セルフでの利用が多いので、相談支援事業所の担当者会議の開催は行われていない
	⑮ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	はい	日々の送迎時での日々の様子の連絡を受ける等情報共有や保護者の同意を得て、学校との情報共有、課題の整理、保護者支援の在り方等、共通理解を図り取り組んでいる
	⑯ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		該当児の受け入れ無し
	⑰ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	いいえ	今後取り組んでいきたい
	⑱ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	いいえ	現在、該当児無し。今後必要かと考える
	⑲ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	いいえ	専門機関との連携する機会がないので、今後取り組んでいきたい
	⑳ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	いいえ	コロナ禍により、取り組みが出来なかった。今後の状況を見て取り組んでいきたい
	㉑（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	はい	コロナ感染拡大にあたり、開催されない時期があったが、開催の折は参加した。今後も説教的に参加し、情報の取得、他機関との連携を図っていきたい
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	はい	療育後に支援員とその日の活動を振り返り、子どもの様子を伝え、保護者の記録に返事を書いたりして保護者と共通理解を図っている
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	いいえ	コロナ禍により自粛、今後状況を見て、計画、実施していきたい

保護者への説明責任等	③⑩	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	はい	重要事項説明書に基づいて、丁寧に説明している。
	③⑪	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	はい	日々の送迎時や相談の場を設けたり、面談、モニタリング、際に相談に応じている
	③⑫	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	いいえ	コロナ禍により自粛している。感染症対策をしながら行える企画を次年度考えていく
	③⑬	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	はい	苦情や要望への対応体制の整備。 保護者から、質問や苦情や要望があった際には速やかに、職員間で話し合い対応、改善に努めている
	③⑭	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	はい	活動の様子を写真に撮り、連絡ノートと一緒に渡している。今後はホームページでの発信も含めてより充実させていく。
	③⑮	個人情報に十分注意しているか	はい	
	③⑯	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	はい	
	③⑰	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	いいえ	コロナ禍により出来なかった。感染症対策をしながら行える企画を次年度考えていく
非常時等の対応	③⑱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	はい	マニュアルは策定し、取り組んでいるが、周知理解の不十分差を反省する マニュアルの読み合わせ、取り組み、改善い努め、子ども安全確保に努めていきます
	③⑲	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	はい	計画に沿って、利用者と職員で訓練を実施している
	④①	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	はい	講師による研修やZOOMを実施使つての職場内研修を実施。療育の場面で絵の対応を振り返り、今後の支援の在り方を常に虐待防止マニュアルを作成している
	④②	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	はい	身体拘束について、研修の場を設け、子どもの行動の捉え、かわり方を学ぶと共に対応について、保護者と話し合い、対応を考え進めている 承諾書を事前にもらっている。
	④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	はい	事前に保護者に確認をしている 医師の診断書の必要な子どもは現在はいないが、しっかりと対応していきます
	④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	はい	ヒヤリハットを職員会議で報告、状況の整理、対策を考え、講じている

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。

新規開所して至らない点が多々ありますが、子どもの幸せを第一に考え療育・訪問支援に取り組んでいきます。